

## 研究名 潰瘍性大腸炎手術例に合併した壊疽性膿皮症の治療成績についての検討

壊疽性膿皮症は潰瘍性大腸炎の腸管外合併症のひとつで、疼痛が強く治療に難渋し QOL を大きく障害します。潰瘍性大腸炎周術期に合併した壊疽性膿皮症の治療成績を明らかとすることを目的とし、2007 年～2015 年の間に当院で大腸全摘術を行った潰瘍性大腸炎患者を対象として、診療録から個人を特定できない形式で、壊疽性膿皮症合併の頻度、検査所見、治療内容と治療経過についての情報を用いた調査研究を行っております。診療情報の使用を希望されない方や、ご不明な点がございましたら、大腸肛門外科（高橋賢一）にご連絡下さい。